

目次

刊行のことは

わたくしども、ベネッセ教育研究所は、1980年に設立されて以来、子どもたちのよりよい生活、及び、学習環境のあり方を研究することを目的として、教育の様々な側面に焦点をあてて研究調査を行って参りました。その成果を、小・中・高等学校へ向けた子ども実態調査報告書「モノグラフ」、中学校の先生向けの情報紙「進研ニュース」を始めとする発刊物などを通して、子どもの教育にかかわる方々へ幅広くお届けしております。

最近では、教育界を中心に、新しい学習指導要領が提起している「教育改革」が大きく取り上げられるようになりました。特に「総合的な学習の時間」が、全国の小・中・高等学校でどういう形で実現されるかは、教師のみならず、教育に関係する多くの方々の関心と呼ぶところであります。

本報告書は、全国教育研究所連盟(全教連)に加盟している全国の教育研究所や教育センターの所員の方々を対象に、平成11年2月に行った「総合的な学習の時間」に関する実施期待などについての意識調査をまとめたものです。「総合的な学習の時間」については、今後、現場での実践が深まる中で、いろいろな可能性や課題が明確になっていくことと思われませんが、本研究はそうした動きを前にして、1つの問題提起ができればと考えて実施したものです。現場での実践の際に、何かの参考にしていただければ幸いです。

なお、末筆ながら、調査にご協力いただいた諸先生方、特に全国の教育研究所・教育センターの所員の方々には厚く御礼申し上げます。今後ともご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ベネッセ教育研究所
代表 島内行夫

I 調査の要約

[1] 調査のデザインと方法	2 p
[2] 総合的な学習の時間への課題意識	2 p
1. 全般的な判断傾向	
2. 総合的な学習の時間の「ねらい」についての判断傾向	
3. 教育課程の基準の改善の「ねらい」等についての判断傾向	
[3] 総合的な学習の時間への実施期待	4 p
1. 総合的な学習の時間の課題について	
2. 総合的な学習の時間の実施上の問題点について	
3. 総合的な学習の時間の実施に向けての方策について	
4. 教育研究所・センター等の研修機会の内容について	
[4] 小・中・高等学校の校種別の実施期待の傾向差について	6 p
1. 小学校	
2. 中学校	
3. 高等学校	
[5] 総合的な学習の時間の課題と改善方策について	8 p

II 調査結果とその分析

[1] 総合的な学習の時間への課題意識	10p
1. 総合的な学習の時間への全般的な判断傾向	
2. 総合的な学習の時間の「ねらい」についての判断傾向	
3. 教育課程の基準の改善の「ねらい」等についての判断傾向	
[2] 総合的な学習の時間への実施期待	17p
1. 総合的な学習の時間の課題について	
2. 総合的な学習の時間の実施上の問題点について	
3. 総合的な学習の時間の実施に向けての方策について	
4. 教育研究所・センター等の研修機会の内容について	
[3] 調査研究のまとめ — 総合的な学習の時間の課題と改善方策について	32p
[4] 総合的な学習の時間の実施校一覧	34p
1. 小学校	
2. 中学校	
3. 高等学校	
資料 調査票と調査結果	46p